

⑦ 大場地先（常陸大宮市小野・小場地区）

大場地先（常陸大宮市 小野・小場地区）の那珂川では、ヤナギ類やオニグルミが生育する樹林地と、ヨシ・オギが優占する草地や自然裸地が耕地の間に入り組んでいる。高水敷を広く占有するオギは、単一群落となっており、ニホンアマガエル、ニホンアカガエル、ヤマカガシ、ニホンカナヘビ等が生息する。トウキョウサンショウウオはこの周辺の丘陵地に分布する。冬はカシラダカが越冬し、夏はオオヨシキリが繁殖し、ホオジロは採餌などに通年利用している。

また、ワンドや細流では、ウグイの幼魚、ドジョウ、タモロコ、ウキゴリ等の魚類や、ヌカエビ、カワニナ等の底生動物が見られる。これらの水域は、増水時の避難場や冬季の越冬場所となっている。



タチヤナギ（ヤナギ科）



トウキョウサンショウウオの卵のうち
(写真：小菅 次男氏)



トウキョウサンショウウオ（サンショウウオ科）
(写真：稲葉 修氏)



図 4-46 大場地先の那珂川の様子（常陸大宮市 6月）



オオヨシキリ (ウグイス科) *
(写真: 榎日水コン)



ホオジロ (ホオジロ科)
(写真: 榎日水コン)



ウキゴリ (ハゼ科) <在来種>
(写真: 榎日水コン)



タモロコ (コイ科) <国内外来種>
(写真: なかがわ水遊園)



カワナ (カワナ科)
(写真: 榎日水コン)



ヤマカガシ (ナミヘビ科)
(写真: 小菅 次男氏)

図 4-47 大場地先の生物

*オオヨシキリ (ウグイス科)
夏に渡ってくる夏鳥。ヨシやオギなどの草地になわばりをつくり営巣する。6月頃から「ギョギョシギョギョシ」とやかましくなく。